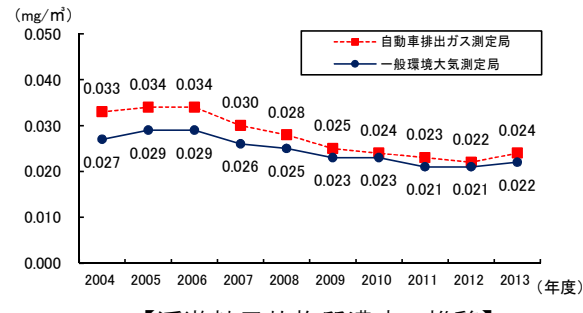
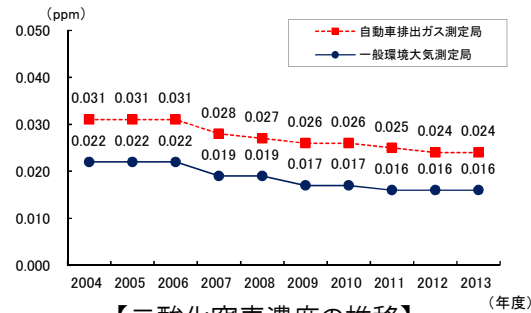


## 一般環境の状況

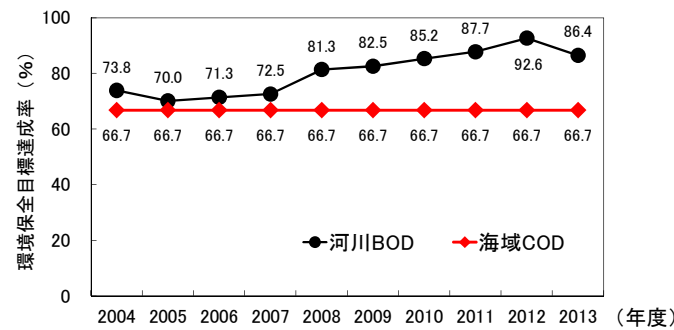
### 大気関係

○二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)、浮遊粒子状物質(SPM)の濃度は緩やかな減少傾向にあり、2013年度はNO<sub>2</sub>については全102局で、SPMについては101局中2局を除いて環境保全目標を達成した。  
○光化学オキシダント、微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)は全局で環境保全目標を達成しなかった。  
なお、PM<sub>2.5</sub>の年平均濃度、及び光化学オキシダントの要因物質である非メタン炭化水素の年平均濃度については、緩やかな改善傾向で推移している。



### 水質関係

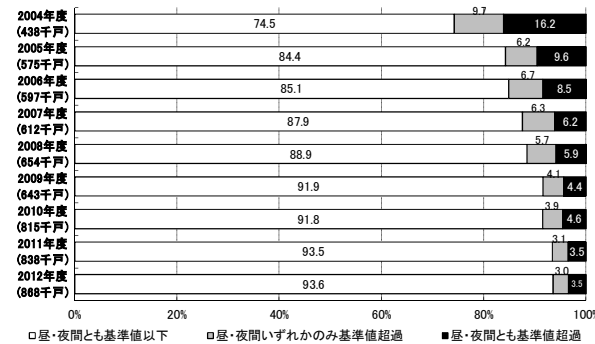
○2013年度は河川BOD及び海域CODにおいて環境保全目標の達成状況は86.4%、66.7%。概ね改善又は横ばい傾向で推移している。  
○カドミウム等の健康項目は環境保全目標を概ね達成している。



### 騒音関係

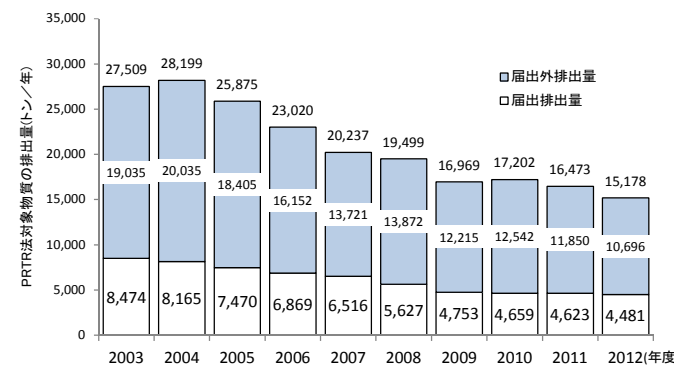
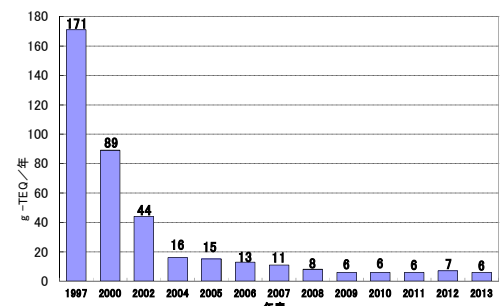
○道路沿道における騒音に係る環境保全目標の達成率\*は改善傾向で推移している。  
※達成状況は、沿道に立地する住居等のうち、騒音レベルが基準値以下の住居等の割合を推計

【道路に面する地域における環境騒音に係る環境保全目標達成率の推移】



### 化学物質関係

○ダイオキシン類や化学物質については、環境中への排出量は減少傾向にある。



【府内における化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)対象物質の排出量の推移】

## 省エネ・省資源等に関する環境の状況

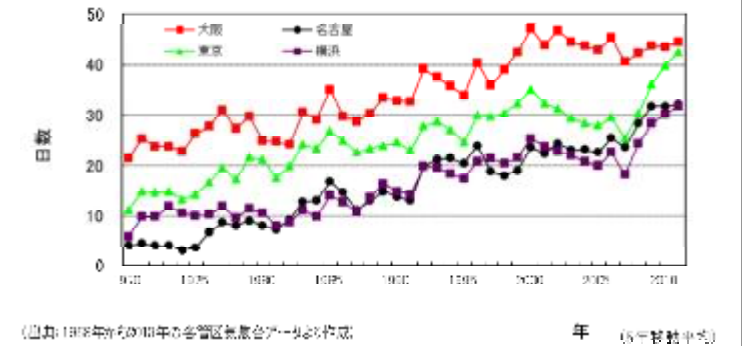
### 地球温暖化・ヒートアイランド関係

○温室効果ガスの排出量については、2011年度と比べ2012年度は4.5%増加したが、基準年度(1990年度)と比べ2.5%減少した\*。



【温室効果ガス排出量の推移】

○2011年の大阪の熱帯夜数\*は、大阪府ヒートアイランド対策推進計画で基準年としている2000年と比べ、3日減少している。



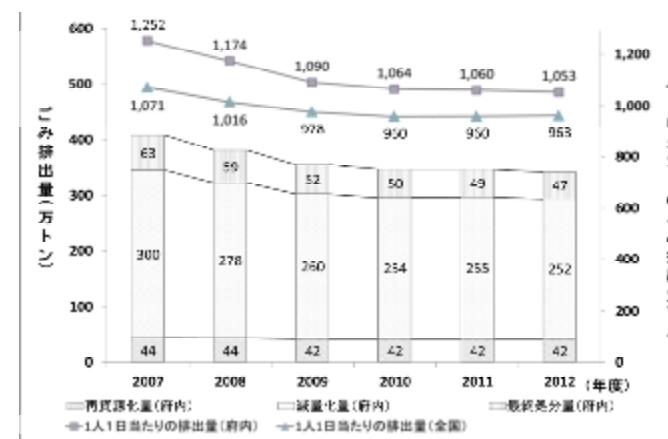
【熱帯夜数の推移】

※電気の排出係数を各年度の値で算出した結果であり、排出係数を2008年度の値で固定した場合は、2012年度は1990年度比18.0%減となる。

※熱帯夜：夜間の最低気温が25℃以上のこと  
※5年移動平均による数値

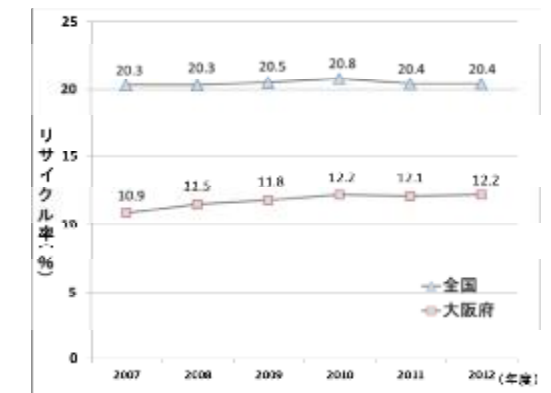
### 廃棄物の減量化・リサイクル関係

○一般廃棄物については、2012年度の1人1日あたりの排出量は5年間で16%減少している。



【一般廃棄物の排出量等の推移】

○2012年度の府内のリサイクル率は全国平均より低い、5年間で1.3ポイント上昇している。

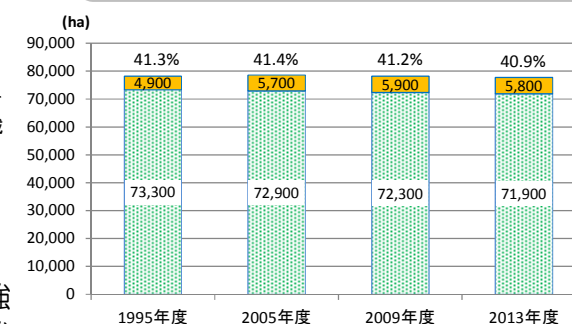


【一般廃棄物のリサイクル率の推移】

## 自然環境、参加・行動の状況

○府内の緑地面積\*は、府域の約4割を維持している。

※「緑地」は、制度や施策の対象として把握されている「施設緑地(公園、公共緑地等)及び「地域制緑地(森林、農地、民有地緑地等)の合計面積。



【府内の緑地面積の推移】

○過去1年間に、府民の約4割強が地域の環境活動に、約1割強が環境学習に参加\*。(参考値)

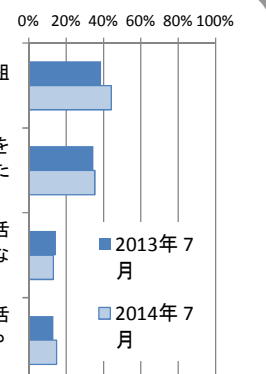
※ 府政モニター約2,300人を対象としたインターネットアンケート結果で、「府民の縮図」ではない。

地域における環境保全の取組への参加

環境に対してよいと思うことを知人や友人に伝えたり広めたりすること

座学型環境教育・環境学習活動への参加(講習や勉強会など)

体験型環境教育・環境学習活動への参加(現地のイベントや体験プログラムへの参加)



【過去1年間に環境活動に取組んだ人の割合(対前年度比較)\*】

※ 今年度と前年度両方のアンケートに回答したモニター約1,300名による。